

- 日米安保条約の廃棄、
米軍基地撤去
- 自衛隊の海外派兵反対
- 独立・平和・非同盟の日本を

安保廃棄

第528号 2025年5月

安保破棄中央実行委員会

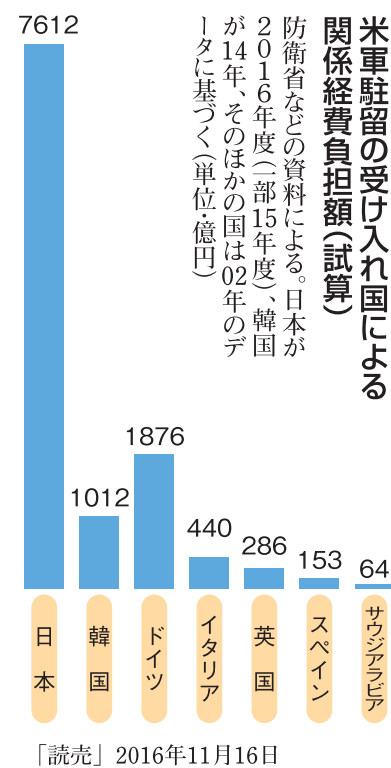
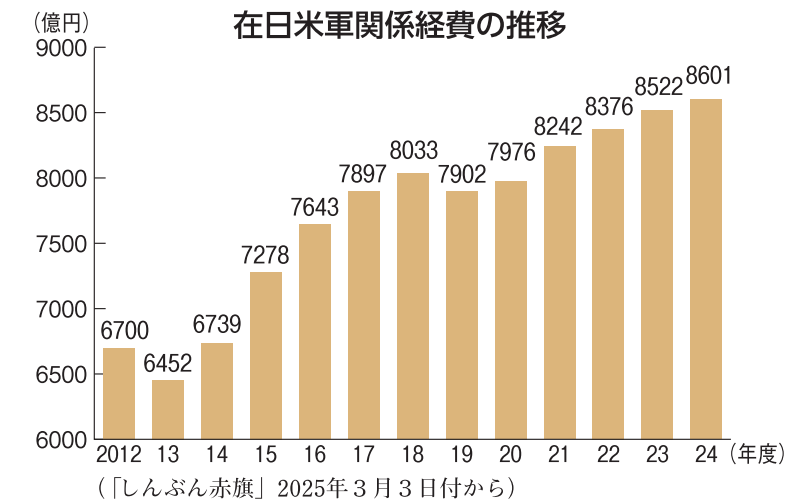
〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町 2-11-13 MMビル 5F
TEL 03-3264-4764 FAX 03-3264-4765
Eメール anpohak@nifty.com
http://anpohakinews.coccan.jp/index.html
毎月1回1日発行/定価100円 年間購読料1800円(送料含む)
郵便振替 00120-3-253220

米軍基地経費負担増要求にノーを

事実を偽るトランプ氏の妄言

トランプ氏は、「我々は彼ら（日本）を守るために何千億ドルも支払う。他国のために全額を米国が負担する（4月10日の閣議）と述べています。こうした発言には重大な問題点が2つあります。1つは、「全額を米国が負担する」というのは事実ではありません。もう1つ、アメリカは「日本を守る」ための費用だけでなく197

アメリカのトランプ大統領は4月17日におこなわれた日本の赤沢経済再生大臣との会談などで、在日米軍経費の日本負担増などを求めたと報道されています。関税問題を「カード」にして軍事費負担の譲歩を引き出すのが狙いとの観測もあります。トランプ氏は、「我々は彼ら（日本）を守るために何千億ドルも支払う。他国のために全額を米国が負担する（4月10日の閣議）と述べています。こうした発言には重大な問題点が2つあります。1つは、「全額を米国が負担する」というのは事実ではありません。もう1つ、アメリカは「日本を守る」ための費用だけでなく197



米軍駐留の受け入れ国による関係経費負担額(試算)

建設費や鹿児島県馬毛島の米空母艦載機の訓練基地建設費など2146億円が計上されています。これら、地位協定に基づかない負担だけでなく、米軍基地の経費負担は8601億円となります。トランプ氏が言う「全額を米国が負担」というのは、1991年の湾岸戦争でも日本の米軍基地から米空母や海兵隊が重要で、

1960年代のベトナム戦争ではベトナム民主共和国への「北爆」をおこないましたが、この戦争では日本が最前線基地となりました。沖縄の米軍基地から連日、B52爆撃機が出撃してベトナムを攻撃しました。米軍関係者は「日本の米軍基地なしにはベトナム戦争はできなかった」と述べています。石破政権に対して、トランプ大統領の求めに要求に対応することなく、要求を拒否するよう求めることが重要で、

金権・軍拡政権打倒に向け 大軍拡反対署名を広げよう

アメリカのトランプ政権は、外国からの輸入品に一方的に課税を課す措置を強行しています。これにより「貿易戦争」が拡大し世界経済が縮小し、各国の雇用悪化などが重大問題となります。3月31日の日米防衛相会談に見られるように、アメリカに対して中国軍事戦略に深く加担し、アメリカが求める「戦争の準備」を求めています。いま、世界で孤立する米国に対して、際立つ追随ぶりを示す石破政権を倒し、金権腐敗と大軍拡の自民党政権を終わら

8年からの累計で8兆円を超えています。また、1997年度からは沖縄での米軍実弾演習の本土移転などSACO(沖縄に関する特別行動委員

米軍駐留目的は日本防衛でない
もう1つ、在日米軍は「日本を守る」ために駐留しているのではありません。このように、アメリカは日本の基地を世界への戦争の出撃基地として利用し続けています。アメリカのワインバーガー国防長官は「沖縄に駐留する海兵隊は日本防衛の任務を割り当てられていない」「アメリカは、日本防衛にだけ専念する、いかなる部隊も日本には維持していない」と述べています。(1983年、米上院歳出委員会国防小委員会)

中谷防衛大臣の「突っ張り」が目立つ。牛島満司令官の辞世の句の問題は2面の瀬長和男レポートで述べられている▼もう1つが辺野古新基地問題。中谷防衛相が4月10日の参院外交防衛委員会でもっと沖縄県が努力すれば普天間の移設は進んだ」と発言したことについて赤嶺政賢議員が17日の委員会で「事実を歪曲」と批判。赤嶺氏は辺野古新基地の経緯に触れ、政府が沖縄県・名護市側との合意を一方的に反古にしたうえ、2005年に軟弱地盤が広がる大浦湾側に建設場所を変更したため大幅な工期延長が必要になったと指摘。「県民の民意を受けて県が新基地反対の立場に立つのは当然」と、撤回を迫ったが、中谷氏は「訴訟などがあり工事が遅れた」などと開き直っている▼辺野古新基地をめぐるのはアメリカの戦略国際問題研究所が実現性を疑問視する報告書を発表したのに対し、日本政府が反論し、建設費について「いくらでも出す」と述べたと報道されている。政権は「突っ張り」を手を間違えている。

沖縄 たたかいの現場から

瀬長 和男
沖縄県統一連事務局長

陸自15旅団「牛島辞世の句」再掲載

自衛隊員に「報国思想」植込む狙い

句をホームページ（HP）に再掲載したことについて質問し、答弁に立った中谷防衛相はこの句を、「これから平和をしっかりと願う歌だと解釈を述べ、HPから削除しない方針を示しました。

この辞世の句がHP

に掲載されていた件では、昨年、統一連と県平和委員会が削除の申入れをおこないました

が、炎天下の中、日陰のない駐屯地入口で応対し、また、担当官が氏名を口頭で伝えるだけで名刺すら渡さないといい主権者を蔑ろにする対応があったのを思い出しました。

「秋を待たで 枯れ行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

行く島の青草は 皇国の春に 甦らなむ」という牛島司令官の辞世の句は、永遠に続いていく天皇の国に生き返りたいという、牛島司令官自身の願望が書かれているだけで、徹底

最後に、沖縄作戦において風土・郷土防衛のため散華された軍官兵士20余万の英霊に対し、この決意を誓うとともに御霊安かれと祈念する次第である。

牛島軍司令官辞世

秋待たで 枯れ行く島の 青草は
皇国の春に 甦らなむ

昭和47年5月15日 1等陸佐 桑江 良達

陸上自衛隊第15旅団HPに掲載された「辞世の句」

沖縄・先島

政府が有事の住民避難計画

必要なのは戦争回避の外交努力

政府は3月27日、有事の場合に沖縄の先島を九州各県と山口県に避難させる計画を公表した。

5市町村12万人を九州・山口へ

その内容は、沖縄県の宮古島市、石垣市など先島諸島5市町村の住民約11万人と観光客

石垣市
防災フェアに米軍参加
連絡会が中止求める

世界秩序を無視したトランプ外交・関税に世界はどう立ち向かうのか問われる日々だが、石破政権はより一層アメリカに付き従っています。

先日行われた宮古島トライアスロン大会では、自衛隊員が市長の自粛要請を無視して、今年も迷彩服でボランティアに参加しました。自衛隊の組織宣伝のために市民の代表の

声すら無視する自衛隊は旧日本軍と同じです。「国民も自衛隊員も誰一人として戦争で命を奪わせない」との声をあげ、平和憲法を守り戦争しない国を維持していくことを、7月の参院選の大きな争点に押し上げていきま



市民防災フェアへの米軍参加について申し入れ書を読み上げる市民連絡会のメンバー（左側）

大分。竹富町（約4千人）が長崎県、与那国町（約1700人）が佐賀県、多良間村（約千人）が熊本県となっ

沖繩本島住民は対象とされず

アメリカのシンクタンクである戦略国際問題研究所（CSIS）が2023年に公表した机上演習結果では、

3月24日、自衛隊の参加中止を求めたところ。同じ18日には、アメリカ連邦議会下院の「米中対立競争に関する特別委員会」の事務

方突然来島し、市議会議員や市長と会見するなど、これまでにない動きです。

（藤井幸子・石垣島民連絡会事務局長）

宮古島市
高まる住民の不安、怒り
「私たちは島から追われる」

国民保護計画で先島の住民など約12万人が九州・山口に避難する計画が発表され、住民は驚いている。「無事に島から逃げられる？」

「九州は安全？政府は生活保障・準備金を出すの？」避難しても1か月しか宿の準備は無い。いつ島に戻る？」

「仕事も家も畑も無い。牛や馬や犬や猫は？」

「団地も道路も港も造る必要無い。経済停滞だよ」「基地建設で儲かって島から追い出される。」などの声も。

4月1日、政府は平良港を特定港湾に指定した。住民説明会も議論戦も無く、市長は

攻撃事態」を想定したもので、具体的には、「台湾有事」に際してアメリカが武力介入し、在日米軍基地や自衛隊のミサイル基地などが相手の標的になっている可能性が高い状況です。

周知のように、政府

は「安保3文書」にもとづいて軍備強化を進めており、その一環として奄美大島から沖縄本島を経て与那国島に至る南西諸島に自衛隊が

長距離ミサイルなどの

配備を進めています。今回の計画の対象となっている先島の宮古島、石垣島にはミサイルが配備され、与那国島もミサイル配備の対象になっています。同時に、沖縄本島のうるま市にもミサイル基地を置く計画が進行しています。

仮に「台湾有事」が発生し、米軍がこれに介入し、自衛隊が参戦した場合は、これらの基地が攻撃対象となる

ことが予想されます。

太平洋戦争中の疎開犠牲者想起

政府の計画では、対象の各島から、船舶と航空機を使って九州各県と山口県の空港に住民を避難させる日数は6日間とされている

す。しかし、6日間かけて避難できるような状況かどうか疑問です。避難期間1か月間の根拠が示されていないことも問題です。

太平洋戦争中の1944年、政府は南西諸島からの疎開を決定しましたが、疎開船「対馬丸」が米軍に撃沈されて学童ら約1500人が死亡した歴史があります。

いま考えるべきは、戦争になったらどうするかでなく、どうやって戦争を起こさないかです。

受け入れを表明。今後は宮古島にも自衛隊と一体に米軍が入ってくるだろう。宮古島市民の頭ごしに事が進められており、こんな理不尽なことがまかり通っている訳がない。

当初、「宮古島に基地を配備すれば抑止力になり敵は攻めて来な

い」と言われ続けた。それが今や敵から島を取り返す「離島奪還訓練」をおこなっている。台湾有事を理由に私たちは島を捨てて流浪の民になる。理不尽だ。

特定港湾指定・国民保護計画は受け入れられない。（宮古島市民・上里清美）

上里清美



先島の避難訓練



神戸市役所前での抗議行動

今年7月

佐賀駐屯地開設しオスプレイ配備 配備反対住民の会が抗議

防衛省は4月15日、佐賀空港の北西側に佐賀駐屯地を7月9日に開設し、陸自木更津駐屯地（千葉県）に配備されてきたMV22オスプレイ17機の移転配備を開始すると発表しました。移転配備は、8月中旬までに完了する予定です。

移転配備されるオスプレイ17機とヘリコプター約50機の佐賀空港での離着陸は、年間290日程度、約1万7千回にも及ぶとされています。これにより民間機を含む離着陸回数は2万4300回超となり、全国8箇所の共用空港のうち新千歳空港を除くと最大規模となります。

3月には県議会でも、自衛隊機のタッチ&ゴイやホバリング訓練を



駐屯地開設にむけ工事が強行される佐賀空港北西側

の自衛隊オスプレイ等配備反対地域住民の会はホームページで、「このまま佐賀空港を軍事基地化させて良いものでしょうか」「地域住民の様々な不安は何ら解消されていません」と抗議し、6月1日に「オスプレイ反対配備直前決起集会」を開催することを告知し、「一緒に粘り強く反対の声を上げていきましよう」と呼びかけています。

「佐賀空港オスプレイ配備計画等に反対する裁判を支援し、地権者とともにたたかう市民の会」（略称「オスプレイ裁判支援市民の会」）もまた、6月21日に「オスプレイ来るなー佐賀駐屯地抗議集会」を予定しています。当日はデモが予定されており、主催者はオスプレイ来るなどという声で駐屯地を包囲しようと呼びかけています。

基地情報

佐賀駐屯地は九州沖縄最大規模

3月24日、自衛隊の

統合作戦司令部が発足しました。その1週間

非核証明なしで強行

米艦の神戸入港に抗議

入港する外国艦船に非核証明書を提出させる非核「神戸方式」を持つ神戸港で3月24日、アメリカの掃海艇「ウォーリア」が非核証明書を提出せず摩耶埠頭に午前9時過ぎに入港しました。

戸港入港拒否の決議をないがしろにするものであり許すことができません。

1975年3月18日に神戸市議会で全会派が一致して採択した「核兵器積載艦船の神戸市に抗議する諸団体」とも

抗議集会は、早朝から神戸市役所前で、艦入港の9時に合わせて摩耶埠頭でおこないました。緊急のよびかけに市役所前には200人を超える市民が集まり、摩耶埠頭にも100人近くが抗議の声をあげました。

に抗議集会に駆け付けました。



麻布米軍ヘリ基地撤去集会

東京・麻布ヘリ基地撤去求め現地で集会

連日米軍基地撤去集会

「麻布米軍ヘリ基地撤去集会」が4月18日、基地に隣接する都立青山公園で130人の参加で開催されました。政府は3月24日に新宿区市ヶ谷に自衛隊の統合作戦司令部を設置、3月31日に「在日米軍の統合司令部へのアップグレードの開始」とし、赤坂プレス



基地に要請する代表

神奈川

米軍厚木基地での「春祭り」中止要請

安部廃棄・諸要求実現神奈川県統一促進会議は4月16日、神奈川県平和委員会、日本共産党と共同で、4月19日に米海軍厚木基地で

の中止を在日米軍に要請しました。

集会では、川崎悟実行委員会共同代表がいさつ、板倉博共同代表がとりくみを報告をしました。麻布ヘリ基地近くに住む女性は「住民に何の説明もなく基地が強化されようとしている。ヘリの騒音がひどくなるのではないかと不安を訴えました。」

連帯あいさつでは「麻布ヘリ基地を米軍は六本木の街をパレードしました。」

無理・無駄・無茶

中止しかない辺野古新基地建设

安保・革新懇の沖縄行動から

4～6日、「戦争する国づくり」と辺野古新基地建设を止めるたまたかいの発展に向けて、「沖縄行動」を13人でとりくみました。

**埋め立て工事進
ちよく率は16%**

新基地建设の現場の海からの視察では、辺野古漁港から抗議船に乗り込み、すでに埋め立てられた辺野古崎の南側部分を左手に、大きく旋回。平島を超え、長島の間を通り抜けて、大浦湾に出ました。大浦湾には、軟弱地盤の改良工事のための6隻の工事船（サンドコンパクション船）が停泊し、出迎えてくれました。工事船には高さ70メートルの赤白交互に塗られた3本の鉄骨（リーダー）がそびえ

**世界に例がない
水面下90m工事**

大浦湾は辺野古崎南側と深い深いうえに、その埋め立てには、水面下90メートルまで広がるマヨネーズ状の軟弱地盤を改良することが必要です。政府は7万1千本もの砂の杭を打ち込み、地盤を固める予定ですが、これほど深い地盤改良の工事船は国内にはありません。施工例も国内では65メートル、海外においても韓国での70メートルまでしかありません。

安保破棄中央実行委員会と全国革新懇は4月



大浦湾に浮かぶサンドコンパクション船

政府は、70メートルまでの地盤改良でも新基地建设は可能と強弁していましたが、「しんぶん赤旗」日曜版のスクープで、防衛省が隠ぺいしてきた地盤強度を示すデータが明らかにになりました。これにより、政府が「水面



4月5日のキャンプ・シュワブ前での県民大行動

下70～90メートルの地盤は『非常に固い』と主張してきたことがウソだったことが暴露されました。辺野古新基地建设と同じ工法で水面下70メートルの軟弱地盤改良にとりくんだ韓国の海底トンネル工事では、砂杭を打ち込んだ地盤から泥が噴出し、突風などで工事船のリーダーが折れるなどのトラブルが続く、工事全体で五つものギネス記録がでるほどの難工事でした。辺野古新基地建设がこれを超える難工事になることは必至で、完成の見通しはありません。

政府の見込む2030年代半ばまでの完成というのは絵空事でしかなく、少なくとも今後10数年以上も「世界一危険」な普天間基地

**ありえない当初
の何倍もの費用**

辺野古新基地建设の予算は当初、総工費3500億円としていましたが、軟弱地盤の改良工事などのために9300億円まで吊りあげられました。琉球新報は、「25年度までに政府試算の約81%となる7543億円を支出する計画になる」（24年12月28日付）と指摘しており、政府の見積もりを超過することは明らかです。沖縄県は2兆5500億円まで膨れ上がると試算して

いますが、物価高騰で国民が苦しむ中、巨額の税金を辺野古新基地建设に費やしている場合ではありません。

辺野古新基地予定地の下には活断層が走っていると専門家は指摘しています。活断層の上にある沈下し続ける辺野古新基地のため

に「民意を踏みにじり、自然を破壊し、巨額の税金の投入がつづけられていますが、この工事は技術的にも財政的にも、政治的にも見通しがたないのが実態です。また沖縄戦で犠牲になった多くの人が眠る大地を掘り起こした土砂を使って、埋め立て工事に使うことは人道に許されません。

岸田政権は2023年末に県知事の権限を取り上げて、埋め立てを承認する代執行をおこなう暴挙を犯しました。しかし、辺野古新基地建设を巡る矛盾は深まるばかりで、岸田政権自身もその中で退陣を余儀なくされ、矛盾は石破政権へと継承されました。無理、無駄、無茶な辺野古新基地建设は中止するしかありません。改めて全国が沖縄と連帯して世論と運動を広げていくことが求められています。

（林竜二郎・安保破棄中央実行委員会事務局次長）

“アメリカ言いなり”政治と

今日の『日米同盟』

小泉親司
安保破棄中央実行委員会常任幹事

③「非核神戸方式」つぶしの狙い

トランプ政権による「相互関税」と、これにもとづく日米交渉での米軍駐留経費負担増の要求など、フェイク（偽情報）による異常極まる外交交渉がすすめられています。こうした中、核兵器持ち込みの禁止を含む「非核三原則」と港湾の軍事利用にかかる重大な攻撃が起こっています。兵庫県神戸市での「非核条例」つぶし

1975年3月、神戸市議会は「核兵器積載艦艇の神戸港入港拒否に関する決議」をおこないました。ここで

「非核証明書」を提出する「神戸方式」と言われるものです。ところが今年、「神戸方式」が制定されてから50年めの節目の年に、「非核証明書」な

しに米軍艦が寄港する「神戸方式」つぶしの強行がおこなわれたのです。トランプ大統領の誕生からわずか2か月

神戸港に入った米掃海艦ウォーリア（3月24日）



の出来事で「拡大抑止」強化の邪魔ものに

魔になったのです。米軍の港湾使用を制限させない

もうひとつは、現在石破政権がすすめている港湾・空港の軍事利用、米軍使用の計画遂行など、憲法9条にもとづく「制約」を取り除く「戦争国家づくり」を強化するためです。

米軍と自衛隊が「台湾有事」などの戦争を起す場合、全国の民間港湾や民間空港を自衛隊はかりでなく米軍が自由に使用できるように変えることは、戦争遂行にとって不可欠です。最近の日米演習でも、米軍基地や自衛隊基地が攻撃を受けて使えないことを前提に、北九州、熊本などに、全国の民間空港や港湾が使用されました。「神戸方式」のような制限があると、他の自治体にも「飛び火」し、米軍の使用に制限を加える自治体が出てくる可能性もあるからです。その意味で「神戸方式」は、核廃絶につながる「非核三原則」を現実にするというばかりでなく、「戦争は絶対許さない」との多くの国民の願いに応え、力を与えるものです。「神戸方式」を守るたたかいをさらに発展させる全国の支援と運動が必要です。